

南山大学 人間関係研究センター 公開講演会
(参加無料)

変革と学習のためのラボラトリー方式の体験学習

The Laboratory Method of Changing and Learning

2014 年 2 月 22 日(土)10 時 30 分～12 時 30 分

南山大学 名古屋キャンパス D棟D51教室(通訳付)

公開講座「第5回組織開発ラボラトリー」の講師としてお招きする米国 NTL Institute のメンバー、パトリシア・ビドル・パドゥヴァ氏による、「変革と学習のためのラボラトリー方式の体験学習 (The Laboratory Method of Changing and Learning)」の講演会を開催します。

ラボラトリー方式の体験学習は、人間関係を体験から学ぶ方法であり 1940 年代に誕生しました。ラボラトリー方式の体験学習の核となる方法は T グループであり米国 NTL Institute によって発展してきました。今回の講演会では、ラボラトリー方式の体験学習が個人やグループ・組織開発・コミュニティ開発にどのようにつながっているかについて概説されます。また、講師の恩師であるロナルド・リビット (クルト・レヴィンの弟子で NTL 創設者のうちの 1 人) の考え方も紹介されます。講演終了後に小グループでのわかちあいと全体での Q&A が予定されています。当日は通訳が付きまします。

*ラボラトリー方式の体験学習(Laboratory Method)とは？

ラボラトリー方式の体験学習は、「特別に設計された人と人が関わる場において、“今ここ”での参加者の体験を素材(データ)として、人間や人間関係を参加者とファシリテーターがともに学ぶ(探究する)方法」(津村, 2010)と定義されています。人間関係トレーニング、グループワーク・トレーニングなどとも呼ばれています。参加者が取り組む課題があらかじめ決められているかどうかによって、ラボラトリー方式の体験学習は「非構成的な体験」と「構成的な体験」に大別されています。「非構成的な体験」の代表は合宿制で集中的に実施される T グループであり、「構成的な体験」はグループワークやコミュニケーション実習、教育訓練ゲームなどのように、参加者が取り組む課題が設定されている実習です。日本では、南山大学人間関係研究センターがラボラトリー方式の体験学習の研究と実践の中心になっています。



講師：パトリシア・ビドル・パドゥヴァ氏 Ph.D
(米国 NTL Institute メンバー)

組織開発のコンサルタント、および、教育者としての 25 年以上の豊かな経験をもつ。ミシガン大学で博士号を修得。NTL で組織開発の研修プログラムを長年担当し、現在は「組織開発修了証プログラム (OD certificate program)」の責任者を務める。また、NTL では T グループ (Human Interaction Laboratory) のトレーナーを長年担当し、ラボラトリー方式の体験学習に造詣が深い。NTL 以外では、アメリカン大学大学院組織開発修士課程の講師などを担当。

～ 参加費は無料です。参加には事前予約が必要です。下記までご連絡ください。～

主催：南山大学 人間関係研究センター 〒466-8673 名古屋市昭和区山里町 18

Phone: 052-832-5002 ・E-mail : ninkan-c@nanzan-u.ac.jp

Fax: 052-832-3202 ・Web ページ: <http://www.ic.nanzan-u.ac.jp/NINKAN/>

※ E-mail、Fax の場合は参加者の「氏名」「電話番号」「E-mail アドレス」をお知らせください。

【個人情報について】今回ご提供いただきます個人情報は、南山大学個人情報保護に関する規程に基づき、適正な利用と保護および必要な安全措施を講じて参ります。1. 講演会に必要な事務連絡、2. 今後の本学公開講座ご案内 (パンフレット送付等)、3. 当日受付簿作成以外の目的には使用いたしません。